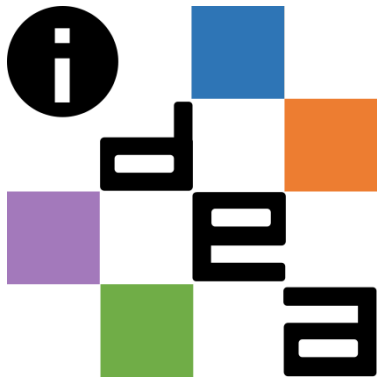


NPO・行政・企業・地域の情報発信により、アイデアと出会いの機会を創ります。

ニュースレター アイデア



2017

10月号

つながり×ひろがる

いちのせき市民活動センター



- | | | |
|---|---------|-------------------------------|
| 2 | 二言三言 | 非日常体験での新たな自分・仲間との出会い |
| 4 | 団体紹介 | 畑沢やさい村（藤沢） |
| 5 | 地域紹介 | 東山町長坂 本町自治会（東山） |
| 6 | 企業紹介 | 一関まちづくり株式会社 街なか産直 新鮮館おおまち（一関） |
| 7 | センターの〇〇 | センターの自由研究「盆棚」 |

非日常体験での新たな自分・仲間との出会い

対談者 「イチコレ」市民モデル 佐々木朋美、千葉エミ、吉田ひろみ
聞き手 いちのせき市民活動センター イチコレ担当 佐々木牧恵

今回は8月27日(日)に開催された「いちのせき市民フェスタ17」内の企画の1つ「イチコレ」こと「いちのせき市民モデルコレクション」にて、一般の参加者とは別に、ゲストモデルと共にランウェイを飾った市民モデル3人の打ち上げ会にお邪魔し、お話を伺ってきました。

突然のモデルオファー

【佐々木】みなさん「イチコレ」では本当にありがとうございました！ゲストモデルとともに、二宮柊子先生の衣装を着てランウェイを歩くという大役でしたが、実際、この話がきた時はどんな心境でした？



右から▼千葉エミ(川崎出身)
佐々木朋美(厳美出身)
吉田ひろみ(萩荘出身)

【エミ】私は所属している団体経由で身長170cm以上の人を探しているという話を聞き、あまり深く考えずにOKしたんです。まさかこんなに本格的にやるとは思わなくて、衣装合わせの時にびっくりしました。

【朋美】私も！友達(佐々木)の頼みだから引き受けたけど、こんな想像はしてなかったよー！

【ひろみ】私は仙台で開催されたチャリティファッションショーのモデルをしたことがあって、その時の楽しいイメージがあったから、知人経由で声をかけてもらった時に、即答でOKしたよ。普段は着れないような服を着たり、自分ではしないメイクや髪型をしてくら



えるのって、女の子としては嬉しいしね。

【佐々木】ひろみさん以外はモデルの経験もないし、しかも本番までたったの3週間という中で、よくぞあそこまで立派に歩いてくれたのと、誰よりも私が驚き、感動しましたよ！

【朋美】衣装合わせの時に他の2人が細かいから、必死に本番までに4kg体重落としたからね！頑張ってたから、だんだんそれが気持ちよくなってきて。

【エミ】私も家事育児の合間に、壁に背中をつけて姿勢を直すようにして、頑張っていました。

【ひろみ】前日の3人での練習は大事だったよね。あそこでお互いにアドバイスし合いながら頑張ったから、今(打ち上げ会の開催等)があるんだよね(笑)。

【佐々木】まさか初対面の3人が、本番が終わった後もこうして集まるような仲になるとは予想もなかったもので、嬉しい限りです。打ち上げ会に混ぜていただいちゃって本当にありがとうございます！



自他ともに嬉しい機会

【佐々木】ご家族の反応などはいかがでした？

【エミ】私の場合、家族よりも所属している団体のみなさんが最前列を陣取って応援してくれていて。ランウェイを歩く時に気になって仕方なかったです(笑)

【朋美】私はせっかくの機会だから、娘と母も参加させていただいたので、良い思い出になりました。

【ひろみ】娘さんもお母様もすごく素敵だったよね！親子とか孫子とかでランウェイを歩く機会なんてなかなかないから、すごく羨ましい！

【エミ】それに、背が高いと「モデルみたいだね」とか「モデルになれば良かったのに」と言われることが多くて、でもモデルをする機会とか入口って普通に暮らしていればないじゃないですか。言われるたびに

「そんな簡単に言わないでよ」って思ってたので、ある意味ようやく身長を活かす機会に巡り合えて良かったです(笑)。

【朋美】わかるー！背の高い人あるあるだね。それにさ、この話来るまで正直このイベントのことは知らなかったんだけど、子どもたちを参加させてみたいと思うママは多いと思うよ。もっと広がれば良いのにね。

【佐々木】もともと少しずつ育てていこうという企画だったのですが、おかげさまで4回目の今年、ずいぶん大きく成長したので、来年はさらにたくさんの参加者が集まればと期待してます。

【ひろみ】来年はどういう感じなの？協力できることがあったら協力しますよ。

【エミ】じゃあ今から企画会議にしちゃいます？

【佐々木】え!?みなさんそんな協力的に!?嬉しい!

【朋美】1回やっちゃえばもう開き直れるよね(笑)



思わぬ発展 継続的なつながりへ

【エミ】ここだけの話、私は今回の件でヒールの高い靴を2年ぶりに履いたんですけど、足を若干痛めてしまって(笑)これを機にたまには履こうって思いましたよ。

【ひろみ】それってすごく大事だと思う！女の子だもん。たまには日常を忘れてオシャレする機会には必要。

【朋美】育児に追われてると女子力は下がるよね。私も髪を巻いてもらったのなんて久しぶりだったし。

【エミ】実際この話をもらった時、娘が保育園に入れなくて気分が落ち込んでた時だったので、かなり良い気分転換になりました!

【ひろみ】今日の打ち上げ会の裏テーマは「がんばりママたちに非日常を」なの。定期的に開催しようか?

【朋美&エミ】ぜひ!(笑)



ゲストモデル▼ミスユニバース
ジャパン2009年ファイナリスト
鈴木末那美(一関一高出身)

【佐々木】イチコレがきっかけになって、そんな集まりに発展するとは!やっぱり1つの目的に向かって

一緒に頑張ったりすると、自然にチームになるものなんです。

【朋美】共通点は「身長が高い」だけなのにね(笑)

【佐々木】聞くのがちょっと怖いですが…結果的にモデルとして歩いてみて、いかがでしたか?

【朋美】超緊張した!胃が痛かったもん。

【エミ】なるべく観客席を見ないようにして、「無」になってましたよ。

【朋美】ランウェイを歩いているときに司会のアナウンスで「このために頑張ってきた3人」って紹介してくれたのは嬉しかったね。本当のモデルだと思われても困るし、そういう舞台裏を紹介してもらえると頑張った甲斐があったなって思えるしね。

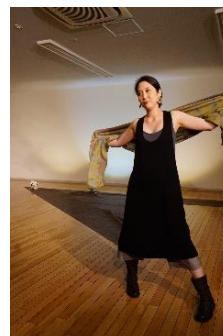
【ひろみ】私は終わっちゃった時に寂しかったな。また日常に戻るのね、って。素敵な衣装を着させていだいて、本当に光栄な機会でした。

【朋美】うん、それはそうだね。楽しかったよ、最終的には!

【一同】うんうん、楽しかった!楽しかった!

【佐々木】嬉しいです。安心しました!

【ひろみ】こうやって新しいつながりもできたしね。この集まりの時はみんなオシャレしてこようね(笑)



イチコレ

2014年に「いちのせき市民フェスタ」内でスタートした市民モデルによるファッション&パフォーマンスショー。誰が、どんな格好で、どんな目的でランウェイを歩いても良い「モデル」が主役のショーとして老若男女さまざまな個人・団体がランウェイを飾ってきました。今年はランウェイやショー全体の構成を見直したほか、ゲストモデルやプロのデザイナーによる衣装提供をいただくなど、ショーとしてもパワーアップ。30組53人がランウェイを歩きました。ショーの様子は当センターホームページでご覧いただけます。

団体 紹介



畑沢やさい村のみなさん

～基本情報～

- ◆会 長：伊藤 幸家^{ゆきや} さん
- ◆連 絡 先：〒029-3401
一関市藤沢町増沢畑沢 92
- ◆電 話：0191-63-4962

休耕農地をみんなが集まる交流の場に

畑を使ってまた昔のような交流を

藤沢地域の北の玄関口であり、かつては農業が盛んで藤沢町内でも有数の葉たばこの生産地だった増沢地区畑沢。現在は、休耕農地も増えてきたことが課題になっていますが、3年前から休耕農地の活用による景観づくりと地域の交流・生きがいに取り組もうと「畑沢やさい村」が活動しています。

今回は、会の代表で団体立ち上げの呼びかけ人でもある伊藤幸家さんと千代子さんご夫婦にこれまでの活動と今後について話を伺いました。

「以前から地域としても休耕農地を何とかしたいという思いは強かった」と話す幸家さん。「空いた畑を使い退職した人などが交流できる活動をしたい」と夫婦で話していたところに、行政と住民が協働で行う「いのせき元気な地域づくり事業」を紹介され、地域に呼びかけ会を発足。視察研修で見た市民農園の取り組みをヒントに自分達も大根畑を通して昔ながらの交流をしてみようと活動をスタートしました。メンバーの中には初めて大根を育てる人もいましたが、事前に勉強してきたりと熱心に活動に参加しています。

市外からも人が集まる大根狩り

1年目は雨が多く種蒔きが遅れたため思うように大根が育ちませんでしたが、地元の新沼保育園と新沼小学校との大根狩り体験を開いたり、福祉施設へ採れた大根を寄付したりしました。

大根狩り体験では、畑で野菜が育つのを初めて見たという子どももいて、失敗して大根が折れたりもしましたが、畑で採れた大根を使い作った豚汁を振舞ったりしながら交流を楽しみました。終了後に、参加した

小学生の家族から「孫が『自分で採ってきた大根でみそ汁を作ってパパとママに食べてもらいたい』と言うので一緒に作りました」という報告があり、嬉しかったと千代子さんは当時の様子を笑顔で振り返ります。

2年目は前年の反省を活かして8月中旬に種を蒔き、袋に詰め放題の大根狩りと各家庭で育てた野菜を販売する軽トラ市を企画。10月に3日間、11月に2日間イベントを開催する予定でしたが、市外や県外からも参加があり、10月の初回で畑の大根がなくなってしまい、会の皆さんも反響の大きさに驚いたそうです。

これからも畑でみんなとわいわいと

3年目となる今年も雨が続き、天候には毎年悩まされますが、今年は畑を拡大し白菜も育て始めています。

メンバーも発足当時の8人から14人に増え、地域内からも「うちの荒れてる畑も使って」「軽トラ市に向けてうちでも何かつくってみようかな」という声も出てきたとのこと。「会に入らなくても、自分達の活動をきっかけに生きがいを持ってもらえたらよい。市の事業で行うのは今年度までだが、補助ありきではなく自分達でやりたいと始めたので、来年度以降もみんな仲良くわいわいと地域が明るくなることを目的に続けていきたい」と今後について話す幸家さん。

来年もまた何か野菜を増やしてみようかという話も出ているそうで、これからも畑沢やさい村から交流の輪が広がっていきそうです。

※今年開催の「畑沢やさい村 大根がり」は10月28日・29日開催予定。詳細は巻末「お知らせ」ページに掲載しています。



子どもたちと楽しんだ大根狩り

地域 紹介



自治会長 鈴木正敏さん

～基本情報～

- ◆自治会長：鈴木正敏さん（4期7年目）
- ◆県道前沢東山線や猿沢川が通り、エリア内に一関市役所東山支所や幽玄洞なども擁する東山町長坂の本町自治会は、長坂の中心部に位置し、163世帯401人が暮らしています。

失敗を恐れず「全力投球」

「遠くの親戚より近くの他人」

「長い教員生活の間、地元への貢献や近所との付き合いなどはあまりなかった」そう振り返るのは今回お話を伺った東山町長坂の本町自治会長鈴木正敏さん。

鈴木さんが自治会活動に関わるようになったのは50代後半から。途中「自治会長に」という声もありましたが教育に対する思いは断ちがたく、自治会長を引き受けたのは、定年後5年間の学習指導専門員（学力向上推進の助言・指導を行う特別職）勤務を経てからのことでした。

「本町自治会の自慢は誰かが『（行事など）何かをやってみよう』と企画すると協力してのってくれる人が多いこと。事業の運営は部会や事務局員が中心になるが、女性も登用しながら協力してもらい大いに助けられている。また、自治会長になって隣近所や地域の人、地域のことを知るようになった。『遠くの親戚より近くの他人』と言われるが、本町自治会を、隣近所と普段から仲良くして、いざという時に助け合える関係の地域にしていきたい」自治会長として7年目を迎えた現在、数々の経験を踏まえ鈴木さんはそう感じています。

本町わんぱく広場

春秋の一斉清掃には100人を超える参加者があるという自治意識の高い本町自治会では、「懇親・交流を重視する」と鈴木さんが語るように、さまざまな形でコミュニケーションを図る事業を行っています。

その代表的なものの1つに「本町わんぱく広場」があり、夏休み・冬休みなど学校の長期休暇期間中に、子供会育成会と連携してさまざまな企画を実施します。近隣の唐梅館へのハイキングを通じその歴史を学んだり、沢遊びなど自然体験をするキャンプ、もちつき大会やピザ作りなどの料理教室、長のり巻き作り、親子卓球大会など、回数や内容はその年によって変わるも

の、およそ年5～8回程度行われており、他地域の一般的な子供会行事が夏冬1回程度ということを見ると、その取り組みは特筆ものと言えます。

また、200人以上が集まるという盆踊り&演芸大会も老若男女問わない大きな交流の場です。しかも本町わんぱく広場の活動の1つにもなっており、親世代が焼いた焼き鳥を子どもたちが地域の方に振る舞うなど、世代間交流の場にもなっています。ほかにも新年交賀会に併せた新春講演会や、本町自治会単位の「スポーツの祭典」やグラウンドゴルフ、パークゴルフ大会、行政区単位の各種スポーツ大会への積極的な参加など、その取り組みには枚挙にいとまがありません。

絆を深める情報誌

その一方「子どもの数の減少など少子高齢化の現実化」「青年部がなくスポーツ以外での若い人たちの参加が少ない」「出入りのあるアパートの方との交流」など、鈴木さんは課題も挙げ、協力・参加してくれる人がやや固定化している現状に対しても「自治会ではいろいろな事業をやっているの、来てくれさえすれば楽しんでもらえると思う。より多くの方に関心をもってもらい、参加してくれるようになれば」と期待を込めます。そしてその想いは、鈴木さん自身が作成している「本町自治会だより」の『会員相互の絆を深める情報誌』という副題からも垣間見えます。

「たいしたもんだ長坂未来塾（長坂の地域協働体）」代表など複数の要職を兼務する多忙な鈴木さんですが、「失敗を恐れず、できる範囲で全力投球」と語る姿は、とても古希を超えたようには見えない若々しさに溢れていました。



「本町わんぱく広場」の様子
（キャンプ）

企業紹介



代表取締役社長
菅原 照之 さん

～基本情報～

◆代表取締役社長：菅原 照之 さん

◆連絡先：〒021-0881

一関市大町 4 番 29 なのはなプラザ 1F

◆電話：0191-31-2201

◆FAX：0191-31-2202



<https://www.facebook.com/shinsenkanoomachi>

「活気や賑わいをとり戻したい」住民主体で運営する企業

生まれ育った地元を見つめるきっかけ

平成 25 年 4 月の開所以来、多くの市民が利用している市街地活性化センター“なのはなプラザ”（一関市大町）。その 1 階にある“街なか産直 新鮮館おおまち”は、地域の方々と運営している一関まちづくり株式会社が、空きビルの利活用と活力あるまちづくりの中心となるよう“交流のできる産直”として平成 17 年 7 月にオープンしました。

「昭和 60 年代から平成 9 年頃まで、駅前にはショッピングデパート千葉久、大町にはダイエー一関店と 2 つのデパートがあり、その間にある大町商店街は買い物客で大変賑わっていた」と当時の様子を語るのは、一関まちづくり株式会社 4 代目代表取締役社長の菅原照之さんです。生まれも育ちも一関市の中心街で過ごした菅原さんは、駅前の賑やかさや商店街の活気を幼少のころから肌で感じてきたといいます。

「平成 9 年に駅前の千葉久が閉店し、平成 14 年にはダイエーも閉店。どちらも空きビルとなり商店街は徐々に空洞化。年を追うごとに、行きかう人が目に見えて少なくなり『なんとかしないと！』という思いが強くなってきた」と当時を振り返ります。

賑わいの創出とは“何か”を考える

「以前のような活気ある街並みにするために、自分たちはどんなことができるだろうか？」と商店街（一関銀座会や大町振興会）の方々はそれぞれの店の経営や仕事に励みながら、空きビルの利活用についても、行政・一関商工会議所と共に話し合いを重ねてきました。さまざまな方向性が考えられた中で共通していたのは「一関に興味を持ってもらおう」ということ。「新しくデパートを誘致して『場所を提供しますから、はいどうぞ。経営してくださいね』というのは簡単な手法だが、それでは何も変わらない。帰省客や一関を訪れた

人が立ち寄り交流ができる場の中に一関産のものを紹介したり販売したりしながら『また一関を訪れてみたい』『地元へ帰ってきたらあそこに寄ろう』という思いをもていただける場所にしたいというのが当初から話し合ってきたメンバーの思い」であり、「それを形にしたのが“街なか産直 新鮮館おおまち”と力強く語ります。

現在は、携わった方々の思いを受け、市内を中心とした 300 軒の野菜生産農家と 100 軒の地場産品加工業者から産品をお預かりし商品紹介や販売を行っています。さらに、地場野菜を使用している食堂運営や、購入した商品を食べることができる休憩スペースも設け、立ち寄った方々の交流の場にもなっています。

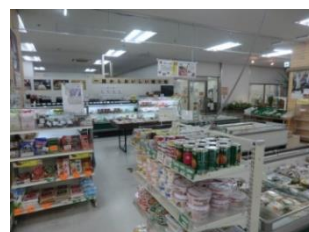
各種イベントへの協力

同社は、町の中心部ということもあり各種イベントに協賛し、その賑わいをさらに盛り上げています。

その 1 つとして、一関国際ハーフマラソン大会の際は、参加者や応援者などが会場から新鮮館おおまちに気軽に立ち寄れるようチラシを配布。選手へはお餅や芋の子汁を無料提供（数量限定）するなどの企画でもてなしをしています。

さらに、平成 29 年 2 月と 7 月に開催された、一関地域まちづくり推進協議会主催事業“子ども食堂”※では、同社から生産者へ、お料理に使う食材として新鮮で安心安全な野菜等の提供をお願いしたり、食器類の手配などで協力。「子ども食堂の開催趣旨には大いに感銘を受け、会社としてできることは積極的に協力したい」と、地域などの新たな取り組みも応援していくという姿勢をうかがうことができました。

※子どもたちの孤食や偏食の改善を目指し、地域として子どもたちを見守り育てていこうとする試み。



安心安全な地場野菜のほか、市内各地域の特産品も販売しています。

センターの ○○!



正月に並ぶ年中行事であるお盆。先祖を迎えるための盆棚（精霊棚）を飾るご家庭が多いかと思いますが、地域や家の習わしによって飾り方やお供えするものも様々です。

そこで、今回は8月に開催した「いちのせき市民フェスタ 17」で公開アンケートを実施。当センターブースに訪れた方々に各ご家庭での盆棚について教えていただきました！

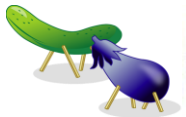


お盆

8月13日（迎え火＝盆の入り）から8月16日（送り火＝盆明け）

お盆は、ご先祖様の霊をお迎えするために行われる行事。その意味の一つは「お亡くなりになった方の霊をお祀りする」ことで、ご先祖様との命のつながりを確認する日となります。仏教では、お盆のことを「盂蘭盆会（うらぼんえ）」と言い、「盂蘭盆経」というお経が、お盆行事の元となっています。

東京や横浜、静岡などの地域では、新暦の7月（新盆）にお盆を迎えるそうですが、それ以外、つまり全国ほとんどの地域では、新暦の8月にお盆を迎えます。新暦8月のお盆は、新暦7月の新盆に対し「月遅れの盆」と呼ばれることもあります。



スタッフ宅の盆棚

盆明けにスタッフが持ち寄った盆棚写真（特徴的部分）



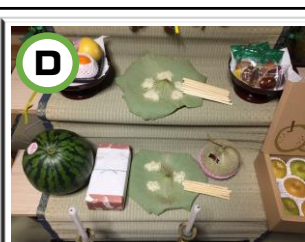
A 両脇にある笹竹をしめ縄で繋ぎ、その縄に五色の短冊や盆花、昆布などが括り付けられています



B 昆布を括らずに棚の端に置くパターン



C お膳にはご飯が5つと油揚げのおかず。端に置いてあるものはついたお餅です



D お膳セットを使わず、蓮の葉の上に直接一口サイズにしたご飯をのせています



アンケート結果

公開アンケートでは、「お供え物」と「お飾り」について質問し、約30人の方にお答えいただきました。今回は、その集計結果から見えた傾向や特徴などをご紹介します。

お供え物編

お供えするもの

◎果物やお菓子の他に何か供えるものがあるかを聞くと、団子が上位に。そうした家では味付けをしない丸い団子をピラミッド型に積み上げるようです。

※つくたてのお餅やおふかしをお供えするという回答もありました。

◎料理には、肉等を避ける精進料理が一般的なようですが、その他にも「ネギやニンニクなどの臭いがするものをあげない」「故人が好きだったものをあげる」「酢の物をあげる／あげない」など、各家・地域によって習わしがあるようです。

盛り付けについて

◎お供え物は「霊供膳（りゅうぐうぜん）」と呼ばれるお膳のセットに盛り付ける家が多い中、蓮の葉の上に直接ご飯などを供える（写真D参照）という回答も少数ながらもありました。

お飾り編

◎お供え物の他に盆棚に飾るものについては、「きゅうり（馬）なす（牛）」という回答が一番多かったです。これは、きゅうりとなすに芋殻や割りばしをさして馬と牛に見立てた「精霊馬（しょうりょううま）」と呼ばれるもので、地域や宗派によっては意味が異なるところもありますが、ご先祖様が「馬に乗って早く帰って来てほしい」「牛に乗ってゆっくり戻ってほしい」という意味が込められているものです。

◎次いで回答が多かったのは「昆布」でした。

昆布は喜びの気持ちを表しているといわれ、飾り方については、「盆棚の両脇に直接置く」（写真B参照）という回答が多く、「縄などに結んで括りつける」（写真A参照）というご家庭もありました。

いかがでしたでしょうか？それぞれの家の習わしや地域の風習があるかと思いますが、あらためて考えてみるとそれぞれに役割や意味があり、それを引き継ぎながら私たちはお盆を迎えているのですね。

おしらせ

一関

さくらなみき自閉症美術館 企画展 きららアートコレクション作品展

毎年約2,000人が来場する障がいをもつたの芸術作品展「いわて・きららアートコレクション」に展示された作品の中から、選りすぐりの作品の展示を行ないます。珠玉の作品がコレクションされた期待の展示内容をお楽しみに！

【期間】平成29年10月10日(火)～11月26日(日)
【場所】さくらなみき自閉症美術館
※休館日や開館時間は下記問い合わせまで。
【料金】入館料無料
【問合せ】0191-48-3622(場所と同じ)

千厩

千厩きもの物語

みんなで着物を着て、本町通りの魅力を再発見しよう！着付け舞鑑賞、集合写真撮影、着物掘り出し市など着物を楽しむのにぴったりなメニューをご用意しています。同日は本町通りで、アートイベントや陶芸展なども開催予定です。

【日時】平成29年10月14日(土)
9時30分～受付 10時～開会
【場所】千厩酒のくら交流施設 集合
【参加料】800円(集合写真、抹茶券付)
【問合せ】0191-52-2043(千厩着物虫干し会)

一関

一関市民オーケストラ 第17回演奏会

渡部勝彦氏の指揮により、ボロディンの交響詩「中央アジアの草原にて」、シベリウスの「カレリア」組曲作品11、ドヴォルザークの交響曲第9番ホ短調「新世界より」作品95などを演奏します。

【日時】平成29年10月22日(日)
開場13時30分 開演14時
【場所】一関文化センター大ホール
【料金】一般1,000円(当日券1,200円)
高校生以下400円(当日券500円)
【問合せ】090-9420-7170(佐々木)

一関

HALLOWEEN PARTY 2017

ハロウィンの夜を皆で楽しく過ごそう！子どもや高校生、障がいがあるかなど、どなたでも参加できます。パーティーではゲーム・交流会「TRICK OR TREAT」や仮装コンテストを行います。おぼけの仮装大歓迎！沢山のご参加をお待ちしています。

【日時】平成29年10月27日(金)18時30分～20時
【場所】山目市民センター
【料金】参加無料
【定員】先着20名 ※10月23日(月)まで募集
【問合せ】0191-21-2104(場所と同じ)

藤沢

畑沢やさい村 大根がり

大根を収穫し1袋1,000円の袋に詰め放題できる収穫体験ができます！併せて地域で育てた野菜の軽トラ市も開催するので、ぜひご参加ください。※畑と軽トラの野菜がなくなり次第終了です。

【期間】平成29年10月28日(土)～29日(日)
【時間】10時～15時
【場所】一関市藤沢町増沢字畑沢82-3
【参加料】1袋1,000円で詰め放題
【持ち物】長靴・手袋
【問合せ】0191-63-4962(伊藤)

一関

新垣勉 おしゃべりコンサート7

テノール歌手の新垣勉さんは、生後間もなく不慮の事故で両目を失明し、両親の離別や祖母の他界により14歳の若さで天涯孤独の身となりました。現在は逆境を乗り越え、自分を救った音楽の素晴らしさを伝えるコンサートを全国で行っています。大人のご来場大歓迎。

【日時】平成29年11月7日(火) 開場13時 開演14時
【場所】一関文化センター大ホール
【入場料】一般3,000円、学生2,000円、福祉券1,000円
【問合せ】090-5231-4333(吉田)

一関

みちのくワークショップ フォーラム2017

ワークショップの達人たちの技術を体感しスキルアップを目指そう！幸福ワーク・デザイン・ファシリテーションなど9つのワークの中から選択できます。「もっと深く学びたい」という声から、今年はプロフェッショナルコースもご準備しました。講師やワーク内容等の詳細は下記電話番号まで。

【日時】平成29年11月18日(土)受付8時30分～
【場所】なのはなプラザ
【参加料】スタンダードコース 3,000円
プロフェッショナルコース 5,000円
【問合せ】0191-26-6400(いちのせき市民活動センター)

花泉

花と泉の公園 スイーツバイキング

ベゴニアの花観賞と一緒にスイーツを楽しむませんか？ベゴニア館の入館料込みの料金で、90分間スイーツが食べ放題です。エディブルフラワー(食用花)や、パスタなどの軽食もご用意しています。

【期間】平成29年11月18日(土)～19日(日)
【時間】10時～15時
【場所】花と泉の公園ベゴニア館側レストラン
【料金】大人1,480円、子供840円、3歳以下無料(ベゴニア館の入館料込み)
【問合せ】0191-82-4066(場所と同じ)

市内

シルバー会員募集

一関市シルバー人材センターでは、家庭や事業所から依頼された臨時的・短期的なお仕事(除草、草刈り、植木の手入れ、清掃など)を請け負う「シルバー会員」を募集しています。原則60歳以上の方で、健康で働く意欲のある方などが対象となります。

【問合せ】一関市シルバー人材センター
一関・花泉地域の方:0191-26-3760
東山・川崎地域の方:0191-35-3021
千厩・室根・藤沢地域の方:0191-48-3306
大東地域の方:0191-71-1234

今月の表紙



今月の表紙は、弥栄側から撮影した北上川にかかる「横石鉄橋」の写真です。鉄橋の下あたりに、川の水位が下がると石が連なって出る場所があり、その石が「横石」と呼ばれています。昔はその石を渡って対岸にも行ったそうです。

Q & A

あなたの「知りたい」にスタッフが答えます

Q

「まちあるき」のポイントを教えてください。

A

「まちあるき」は、自分が住む地域などを立場の異なる複数の人と一緒に歩き、気づきや発見などを記録していくことです。ただ歩くのでは意味がなく、歩く前に必ず「ミッション」と「視点」を設定し、いつもとは少し異なる視点で歩くことが大切です。

ミッションの例: 小学5年生の目線で、外国人になったつもりで
視点の例: 地域の歴史的背景に目を向ける、道路の構造を確認する

